

鳥取県の「将来ビジョン」を 考えるために

Ver.2.

鳥取県企画部
次世代改革室

平成19年9月25日

内容

はじめに

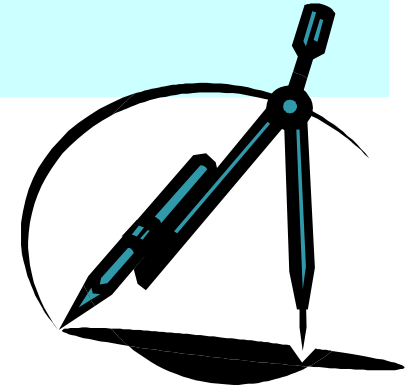
時代の潮流・背景

鳥取県の現況

当面の重要課題

高速道路などの基盤整備の予定

はじめに



1 ビジョン策定の趣旨

平井知事のマニフェスト「次世代改革－鳥取新時代へ」

未来を語って今を考える県政

「従来型計画と異なり、大きな県政の方向について、財政的な前提とか克服すべき課題なども付記した近未来の将来ビジョンを作り、県政のあり方について県民的議論を重ねながら毎年の予算や事業を決めていく指針とします。」

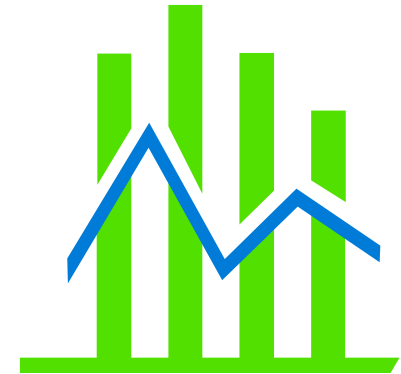
2 ビジョンの役割

- 中長期的な県の課題や、目指すべき姿の共通認識を作り上げ、その実現に向けた取組みを明らかにするもので、今後の県政運営の基本とするもの
- また、県民の皆さん、企業、住民団体、大学、市町村等の様々な主体と連携・協働して地域の発展に向けて取り組むための共通の指針となるもの

時代の潮流・背景(1)

(1) 人口減少・少子高齢時代

- ・ 「人口減少社会」に突入した日本
2035年には3人に1人が高齢者(33.7%(推計))
- ・ 経済成長力の低下 社会保障負担等の増大
- ・ 人口偏在の拡大 地域社会の脆弱化



(2) 地球の許容能力の限界

- ・ 高まる地球環境問題の重要度 地球温暖化、異常気象
- ・ 逼迫するエネルギー需要 化石燃料の限界
- ・ 世界的な人口の増加
(65億人 2050年には91億人(国連推計))
水、食糧需給バランスの崩壊



時代の潮流・背景(2)

(3) グローバル競争の激化

- ・ 市場経済主義が世界を席卷
「グローバル・スタンダード」が全ての基準に
- ・ BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)などの著しい経済成長
- ・ 世界的に広がる経済格差 生活、教育の格差を生む



(4) 情報・スピードが価値を生む時代

- ・ インターネット、携帯電話、地デジ
- ・ 難しくなる個人情報への安全性確保
- ・ 「デジタル・ディバイド」 情報格差の拡大



時代の潮流・背景(3)

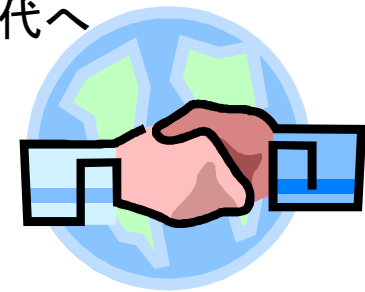
(5) 地方分権の時代

- ・ 市町村合併、権限移譲 基礎自治体の強化が進む
- ・ 厳しい地方財政運営、地域間格差拡大 「道州制」論議



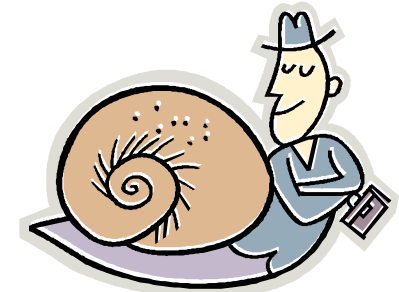
(6) 「協働型」社会への転換

- ・ 社会を担う新しいシステムづくり 「公主体」から「共助」の時代へ
- ・ 家庭、職場、地域社会での男女共同参画
- ・ 「ユニバーサルデザイン」の発想

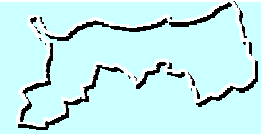


(7) 多様・多選択社会

- ・ 物質的な豊かさと精神的な豊かさ 「スローライフ」志向
- ・ 「ワーク・ライフ・バランス」、「人生の複線化」



鳥取県の現況 項目一覧



(1) 生い立ち

(2) 地勢・気候

(3)(4) 面積・人口構成

(5)～(7) 産業全般

(8) 工業

(9) 商業

(10) 農業・水産業

(11)(12) 就業状況

(13)(14) 観光

(15) 近隣県との交流

(16) 暮らし

(17) 情報通信

(18) ごみ

(19) 安全

(20) 防災

(21) 健康・医療

(22) 地域の絆

(23) 子育て

(24) 社会保障

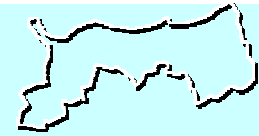
(25) 男女共同参画

(26)～(29) 教育

(30) 文化

(31) NPO

鳥取県の現況

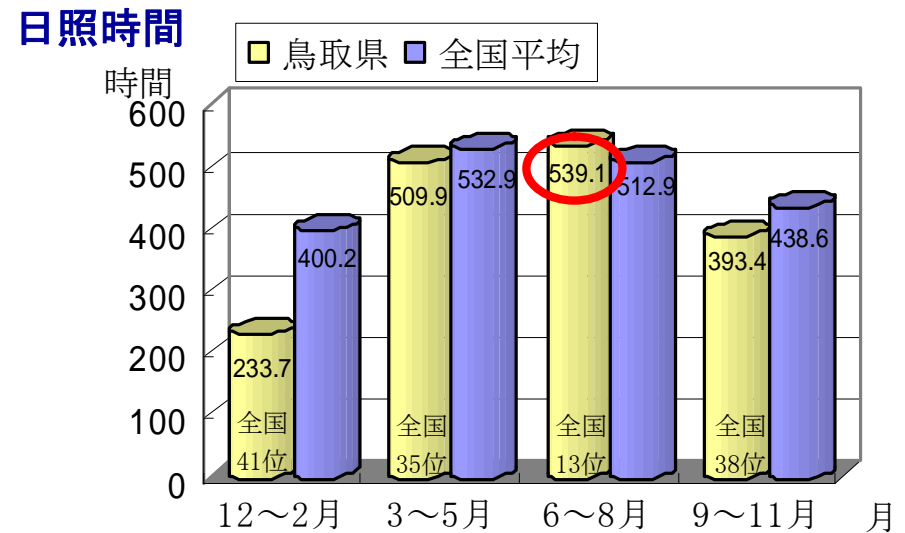
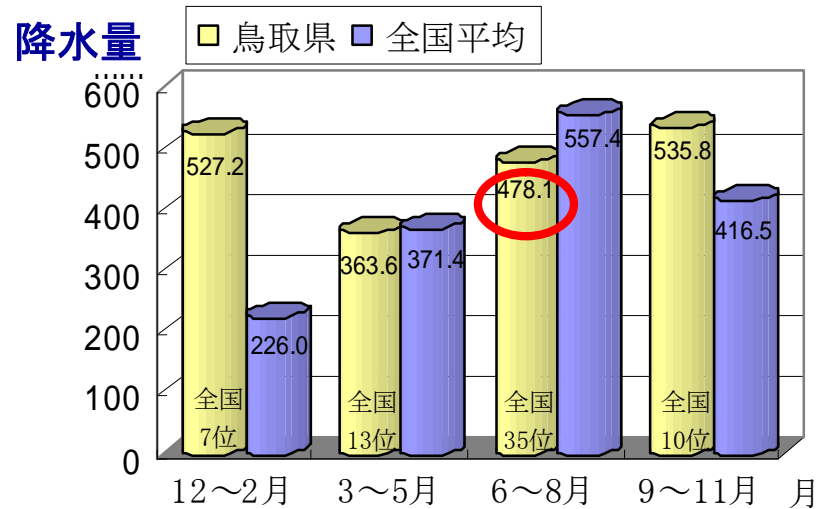


(1) 生い立ち

- ・ 島根県に併合の後、明治14年に再び「鳥取県」として再置された歴史
- ・ 明治22年 1市4町233村 平成の大合併 4市14町1村

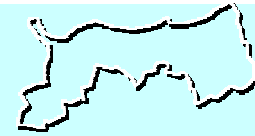
(2) 地勢・気候

- ・ 可住地面積は少ないが、豊かな森が広がる県土
- ・ 意外にも夏は雨が少なく、日照時間も長い



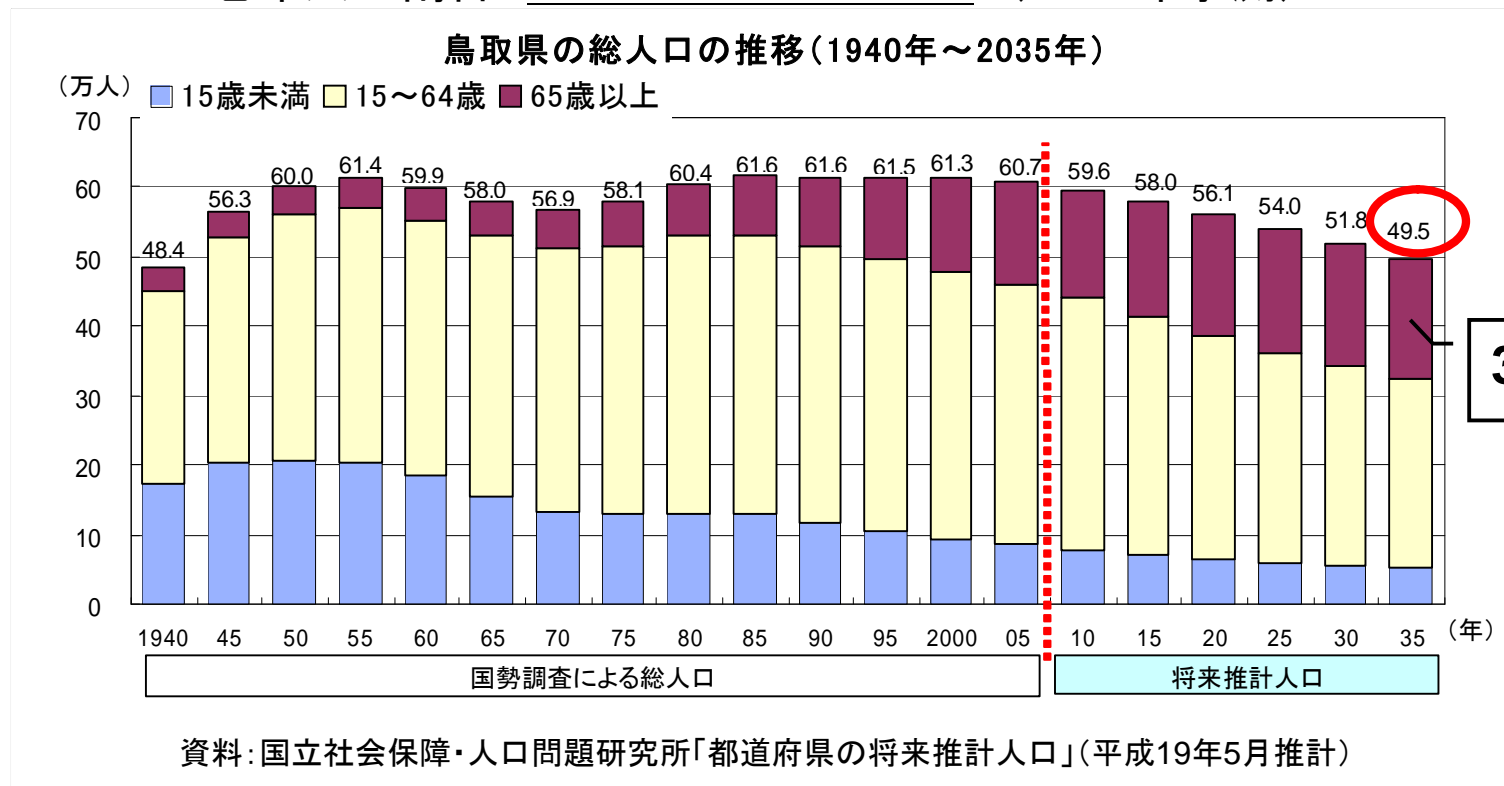
資料: 気象庁年報、気象統計 1971年～2000年平均(県庁所在地等)

鳥取県の現況

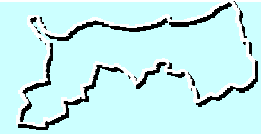


(3) 面積・人口構成 - 1

- ・ 面積は全国の 1/100、人口は全国の 1/200
人口は今後さらに減少 607 495千人 (2035年予測)
それでも世界の2割近い国は鳥取県(607千人)より人口が少ない
- ・ 老年人口割合(65歳以上)が高く、生産年齢人口割合(15~64歳)が低い
老年人口割合 24.1 34.5% (2035年予測)



鳥取県の現況

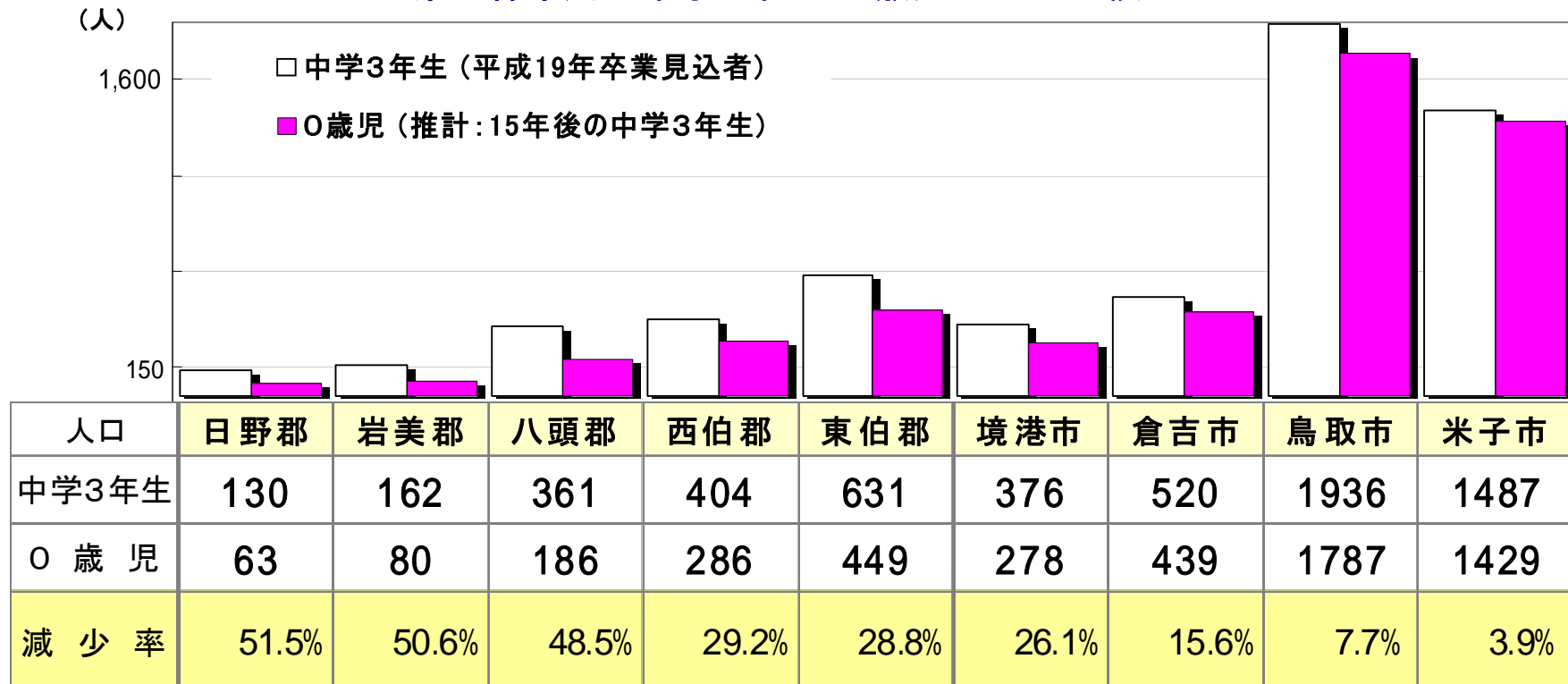


(4) 面積・人口構成 - 2

・ 少子化の進行

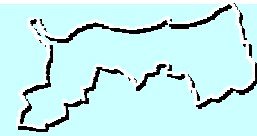
中学3年生人口の減少を県内郡市別に見ると、例えば日野郡、岩美郡、八頭郡では15年後にほぼ半減すると予想

県内郡市別の中学3年生と0歳児の人口比較



資料:鳥取県教育委員会「郡市別児童生徒数の推移」(平成18年) 国立・私立学校生は除く

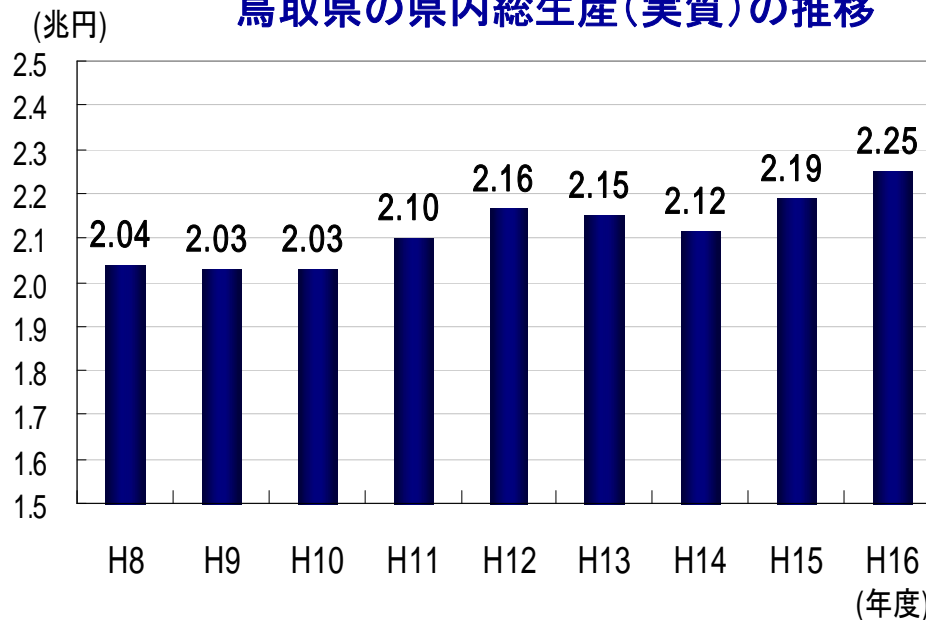
鳥取県の現況



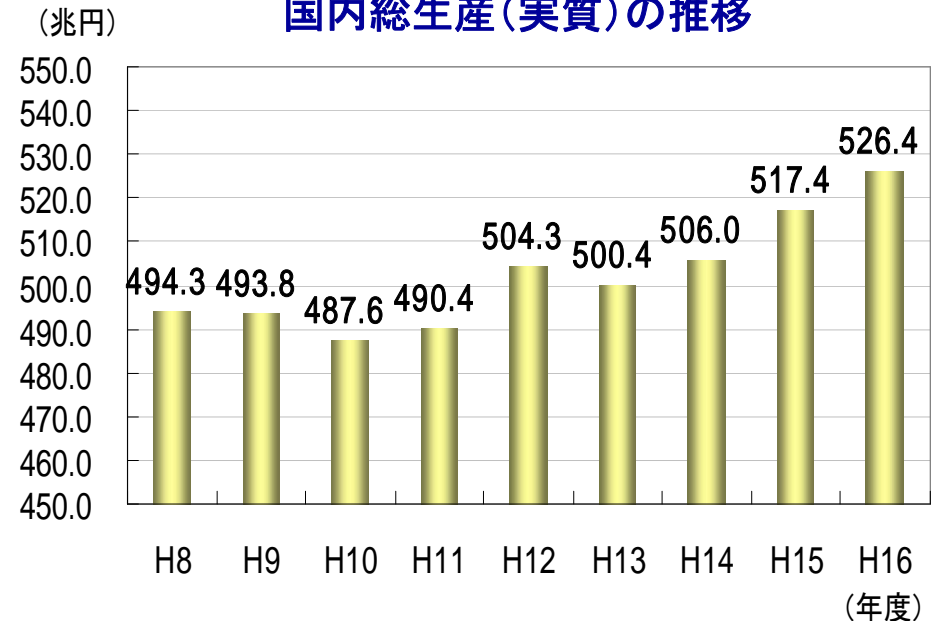
(5) 産業全般 - 1

- ・ 県内総生産(実質)は **約2兆円**、全国(約530兆円)の **0.4%** 程度
- ・ 総生産は、全国、鳥取県とも、景気の回復に伴ってやや上昇傾向にある

鳥取県の県内総生産(実質)の推移

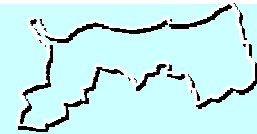


国内総生産(実質)の推移



資料:鳥取県統計課「県民経済計算」

鳥取県の現況

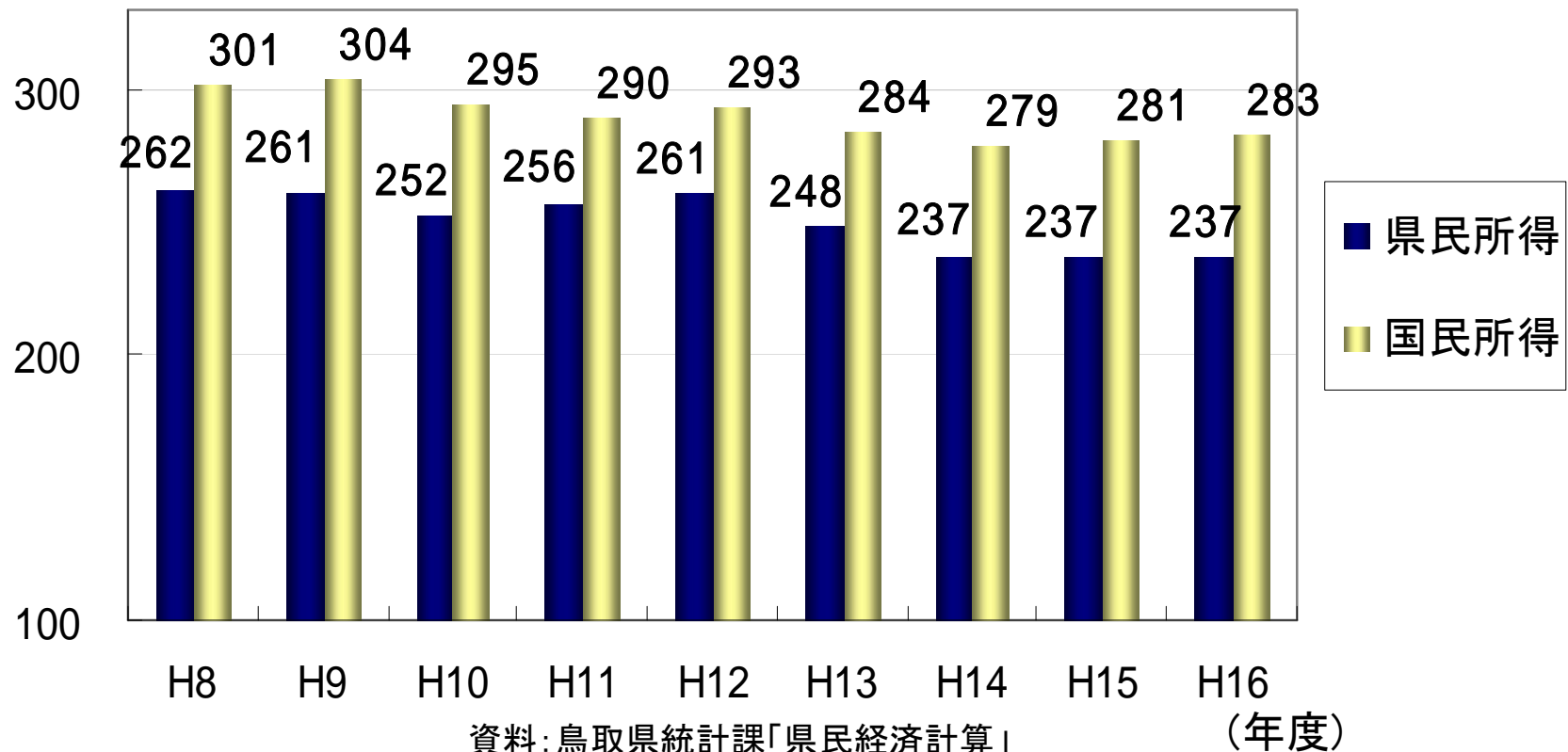


(6) 産業全般 - 2

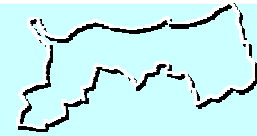
- ・ 一人当たりの県民所得は 全国35位 と低位。全国との格差も縮まらず
- ・ しかし、世界の国々と比較すると25位くらいに匹敵 (24位 香港、25位 クウェート)

(万円)

国民・県民所得(1人当たり)の推移



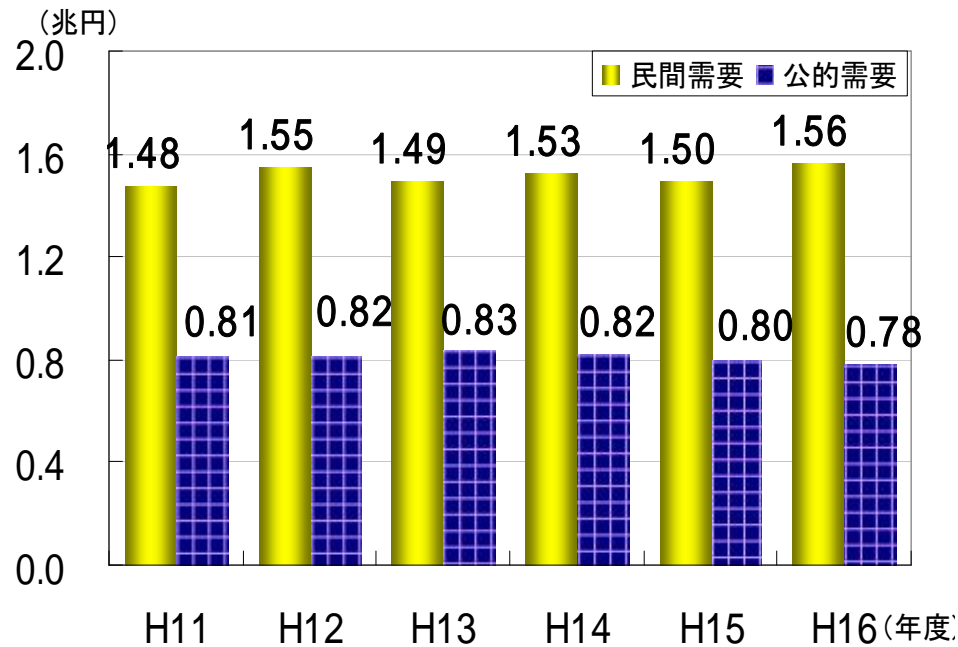
鳥取県の現況



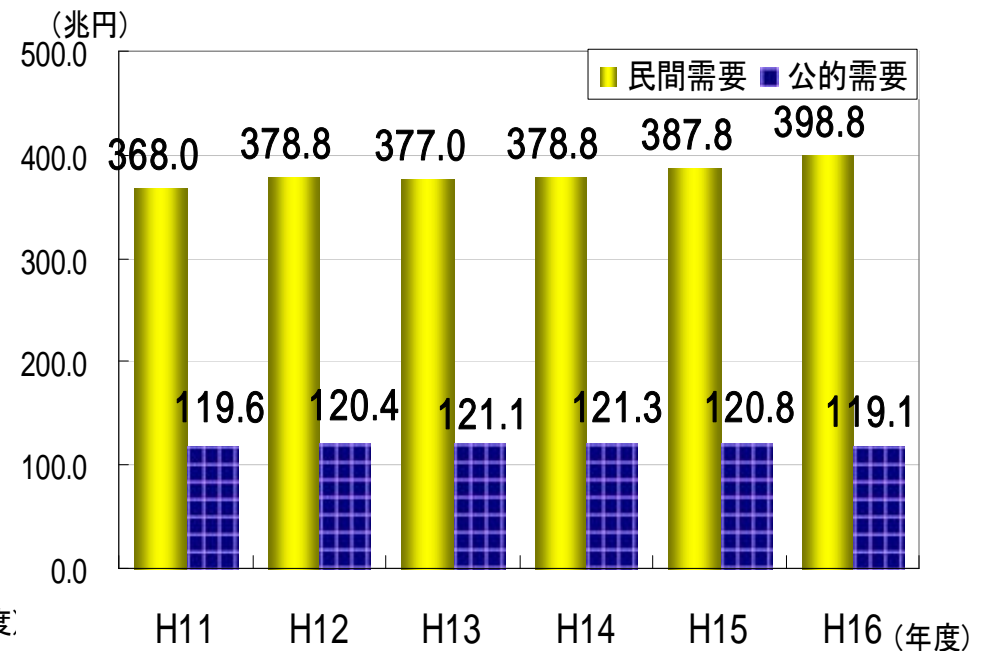
(7) 産業全般 - 3

- ・支出(需要)面から見ると、民間需要は横ばい、公的需要はやや減少傾向
- ・国内の民間需要は公的需要の 3倍の規模 だが、本県では 2倍に留まる

鳥取県の民間需要、公的需要の推移(実質)

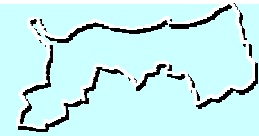


国内の民間需要、公的需要の推移(実質)



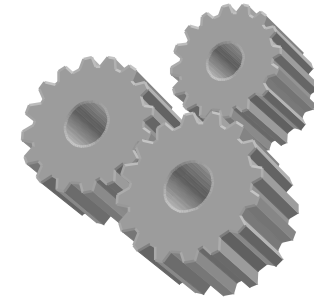
資料:鳥取県統計課「県民経済計算」、内閣府「平成17年度国民経済計算」

鳥取県の現況

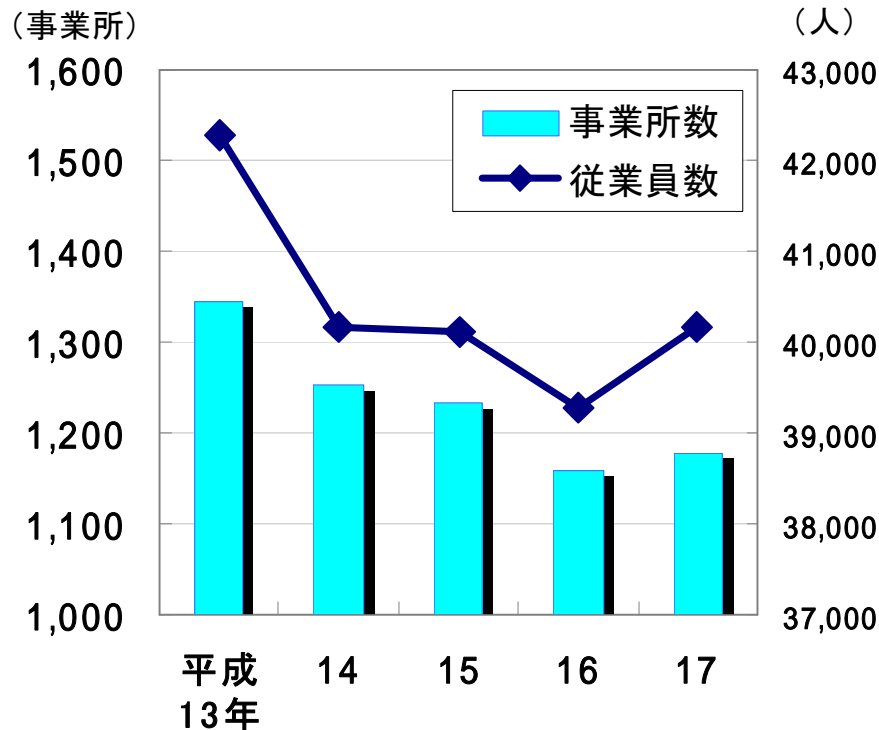


(8) 工業

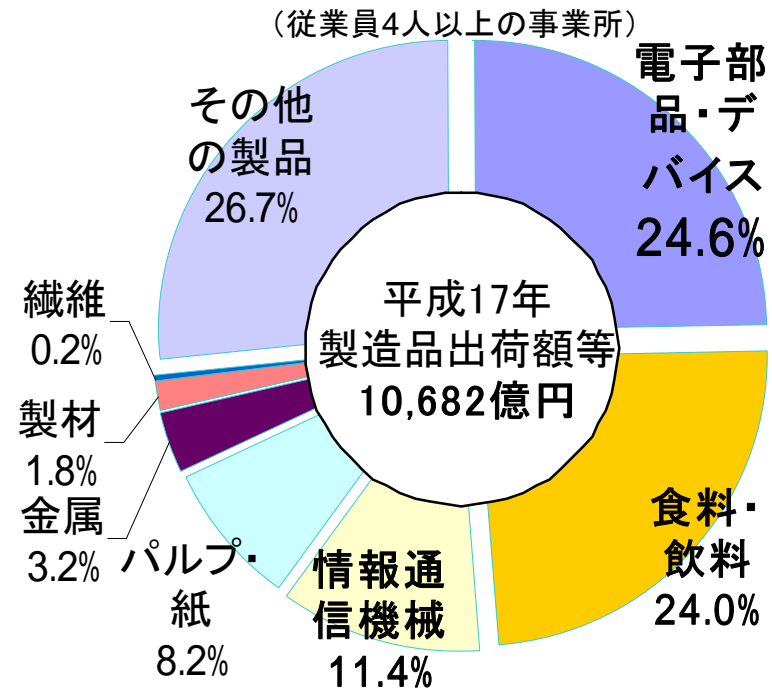
- ・ 製造業事業所数、従業員数は、全国と同様に減少傾向
- ・ 本県の製造品出荷額トップは「電子部品・デバイス」



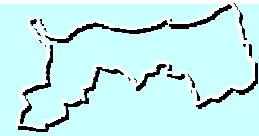
鳥取県の製造業事業所数・従業員数推移



鳥取県の産業別製造品出荷額等構成比(平成17年)



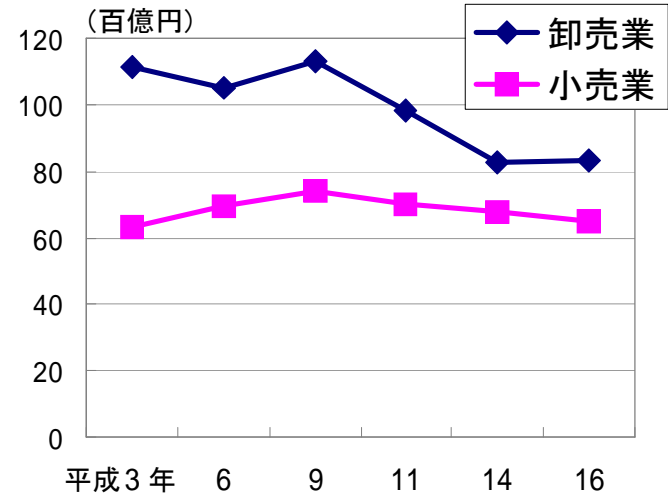
鳥取県の現況



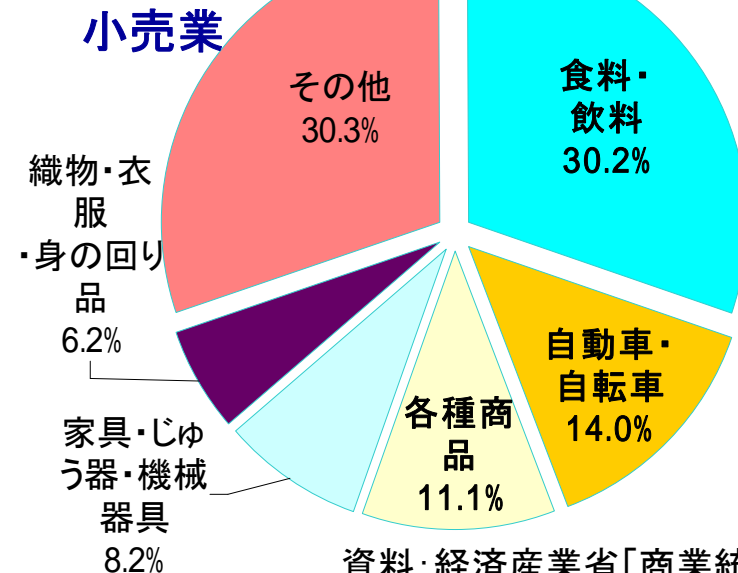
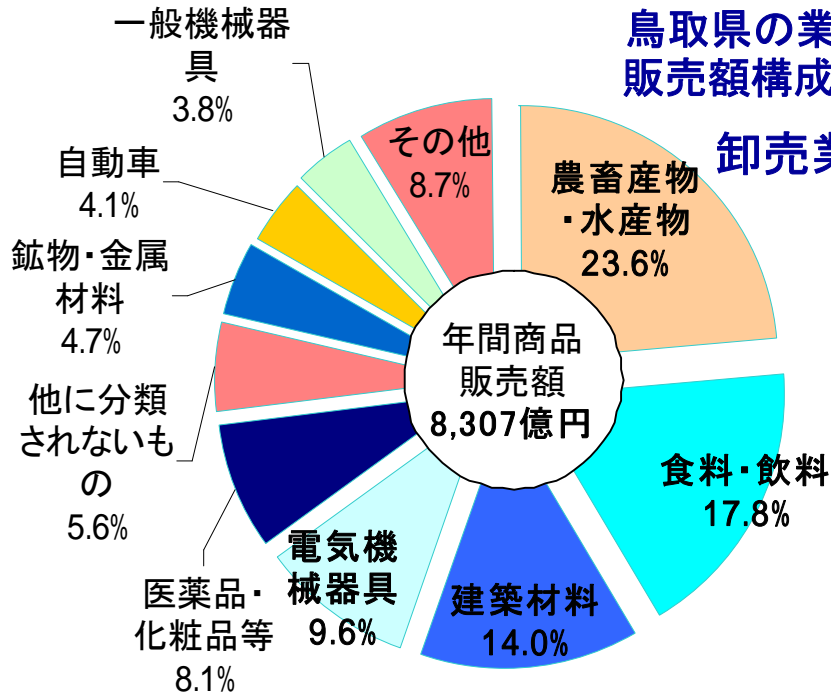
(9) 商業

- ・ 卸売業、小売業とも、販売額は減少傾向
- ・ 本県の卸売業商品販売額トップは「農畜産物・水産物」
- ・ 小売業の商品販売額の上位項目は、ほぼ全国と同じ

鳥取県の年間商品販売額の推移

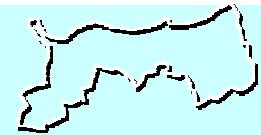


鳥取県の業種別年間商品販売額構成比(平成16年)



資料: 経済産業省「商業統計調査」

鳥取県の現況

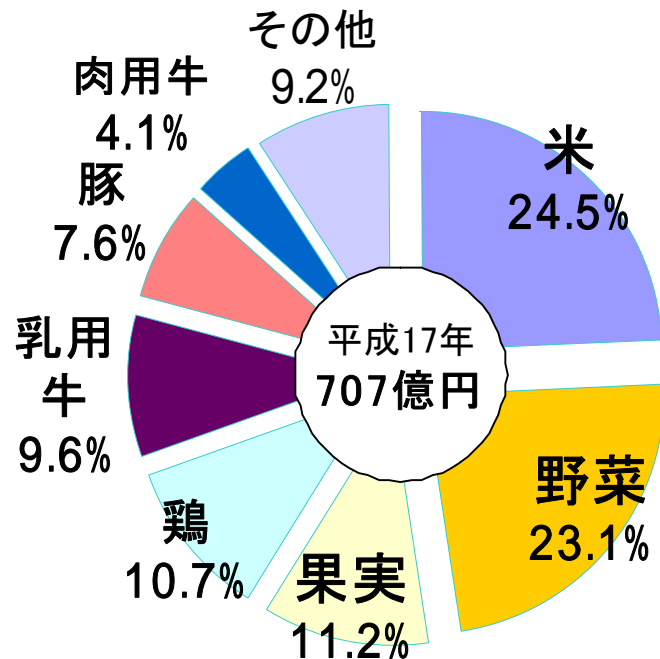


(10) 農業・水産業

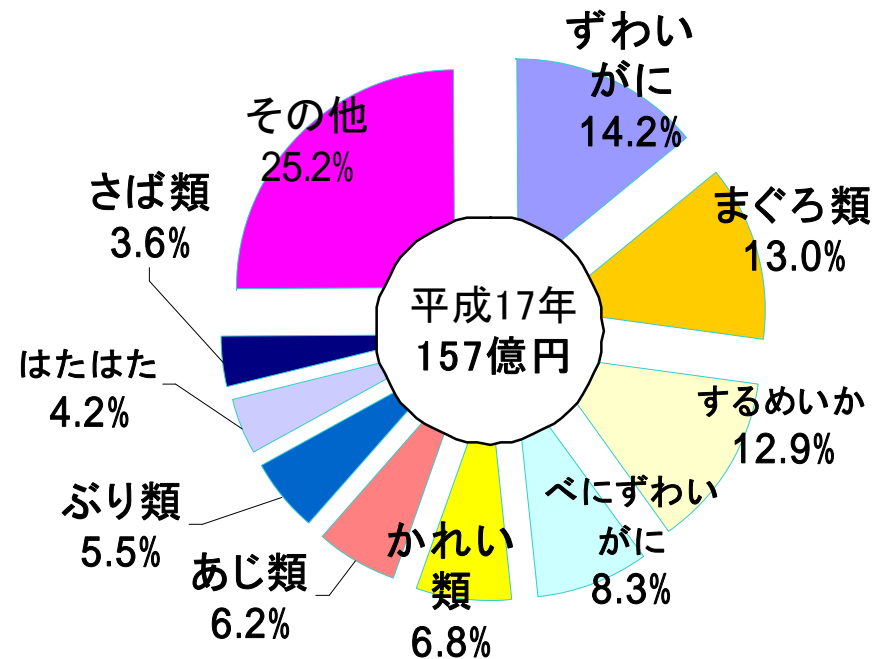
- ・ 農業産出額は、米・野菜・果実中心だが、畜産関係も目立つ
- ・ 水産業では、ずわいがに、まぐろ類などが強み（クロマグロ漁獲量は全国2位(H16)）

鳥取県が生産量上位の農産物		
二十世紀梨	1位	全国の48.3% (H17年)
らっきょう	1位	全国の28.5% (H16年)
すいか	5位	全国の 5.4% (H17年)
ねぎ	9位	全国の 2.6% (H17年)

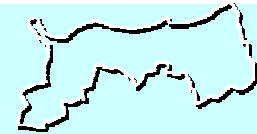
鳥取県の農業産出額割合(平成17年)



鳥取県の漁業生産額割合(平成17年)



鳥取県の現況



(11) 就業状況 - 1

- ・女性就業率(全国6位(平成17年))、高齢者就業率(全国3位(平成17年))が高い
- ・全国と同様、第3次産業就業者の割合が最も高いが、農家人口が県民の1/4近くに達している点に特徴

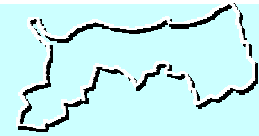


	鳥取県	全国
女性就業率 (15歳以上人口(女性)に占める就業者の割合)	50.3% (<u>6位</u>)	46.4%
高齢者就業率 (65歳以上人口に占める就業者の割合)	26.1% (<u>3位</u>)	21.5%

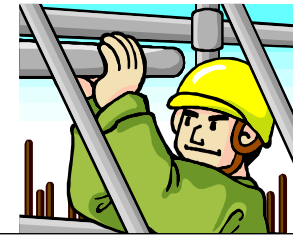
	鳥取県	全国
第3次産業就業率	<u>62.9%</u>	67.2%
農家人口割合 (人口総数に占める、農家に属する人口の割合)	<u>23.8%</u>	8.9%

資料:国勢調査(平成17年)、農林業センサス(平成17年)

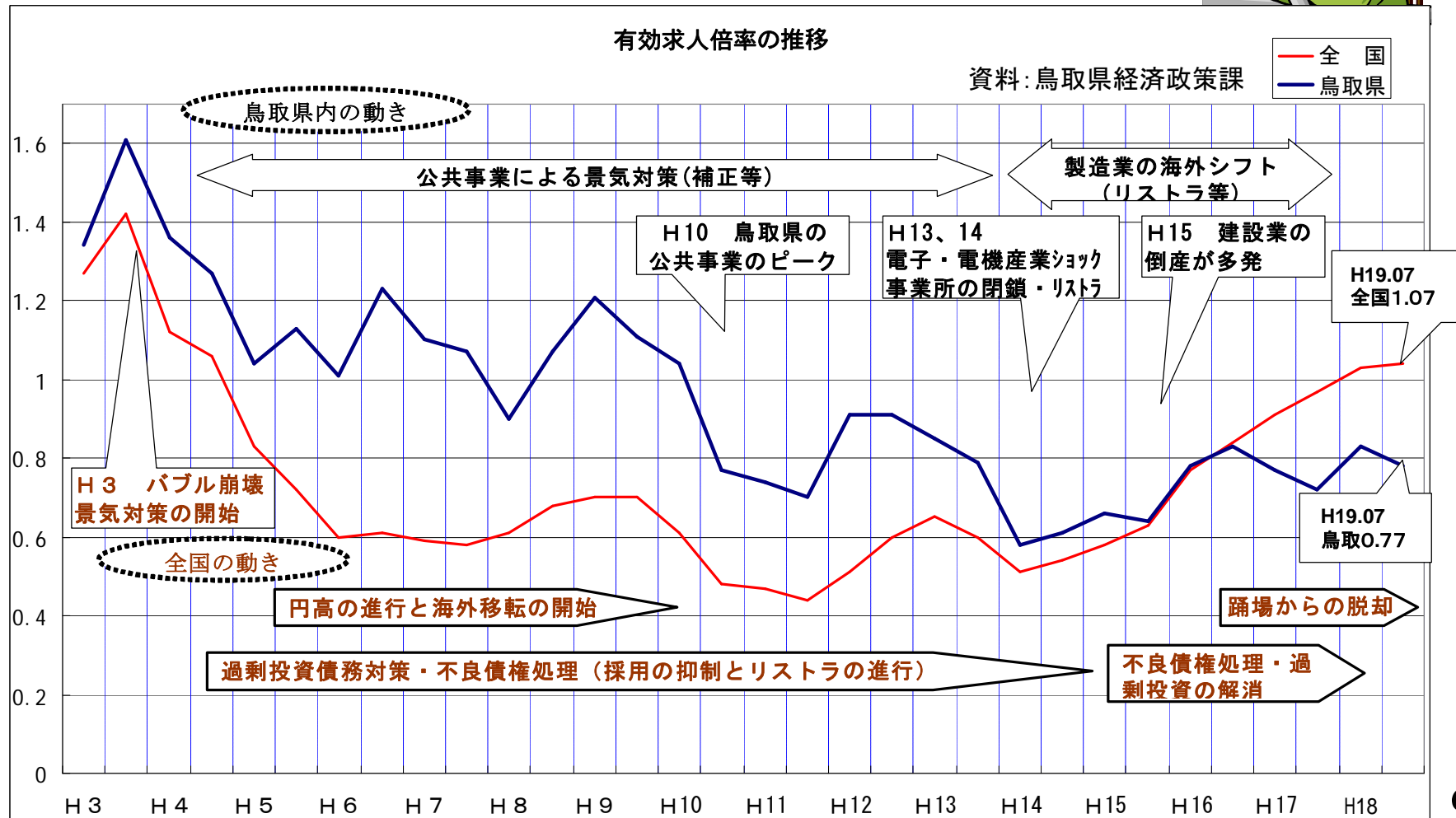
鳥取県の現況



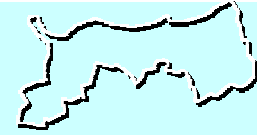
(12) 就業状況 - 2



- 最新の有効求人倍率は、本県 **0.77倍** 全国 **1.07倍** (平成19年7月)



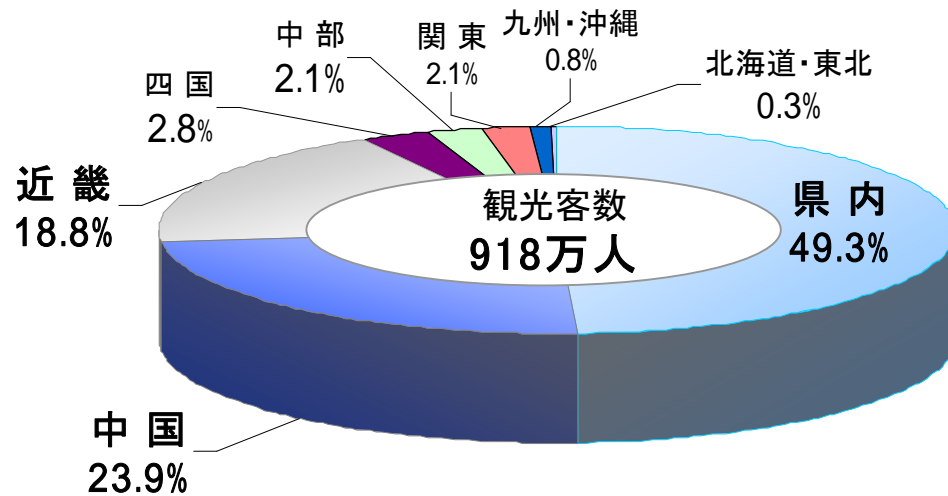
鳥取県の現況



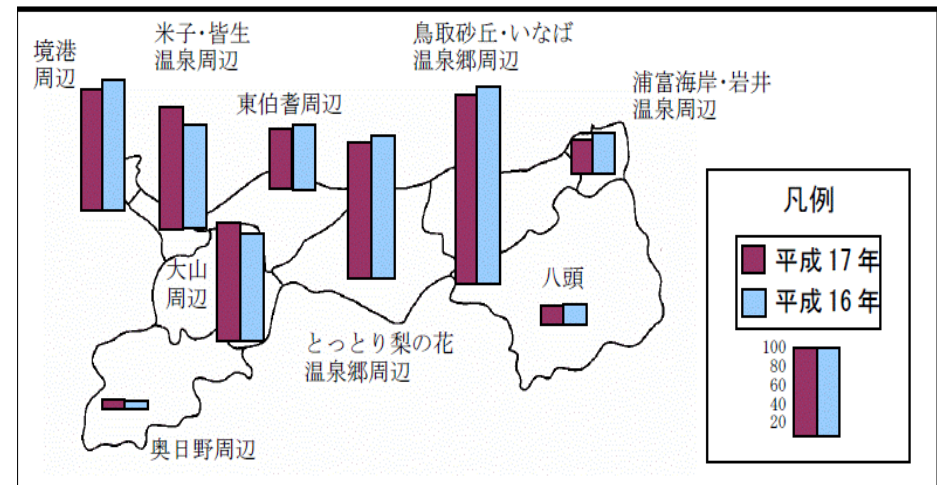
(13) 観光 - 1

- ・ 本県への観光客数は 約 918万人 (平成17年) で、近年は900万人前後で推移
- ・ 観光客は、「県内」からの訪問者が約半数。
以下「中国地方」「近畿地域」が続き、この3地域で全体の9割

発地別観光入込客数(平成17年)

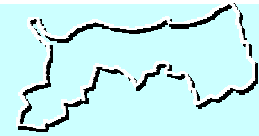


地域別観光入込客数(平成17年)



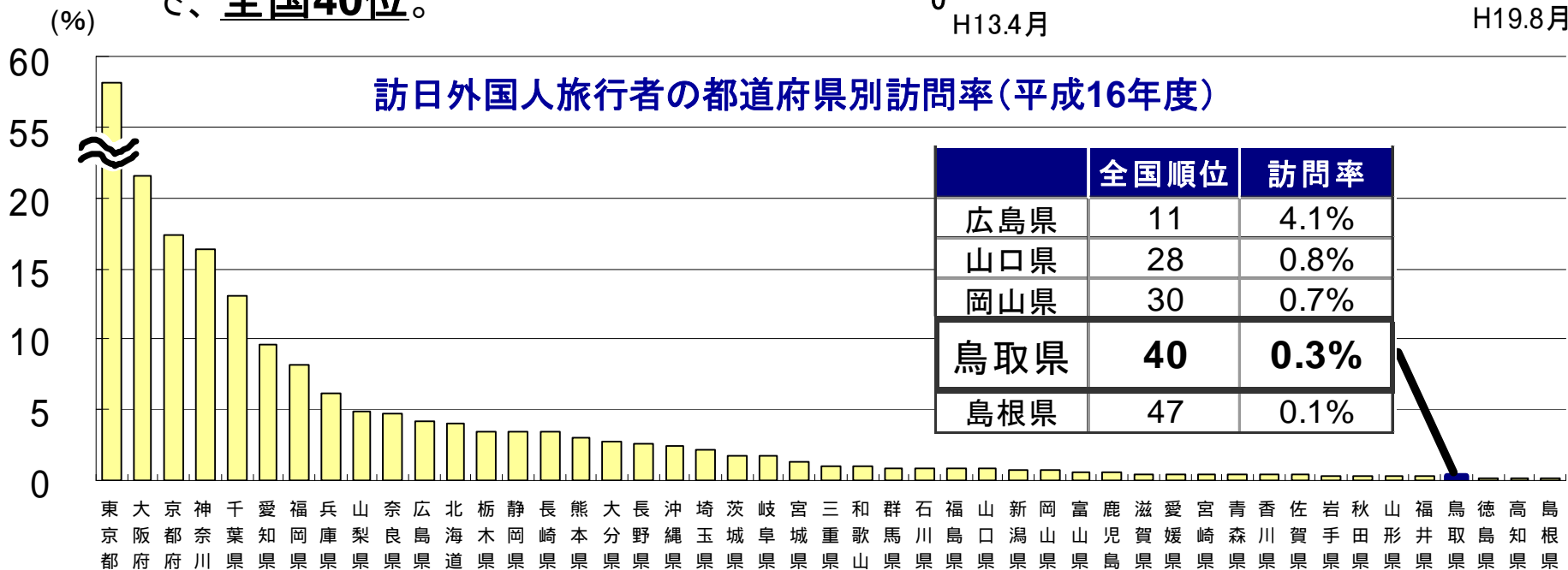
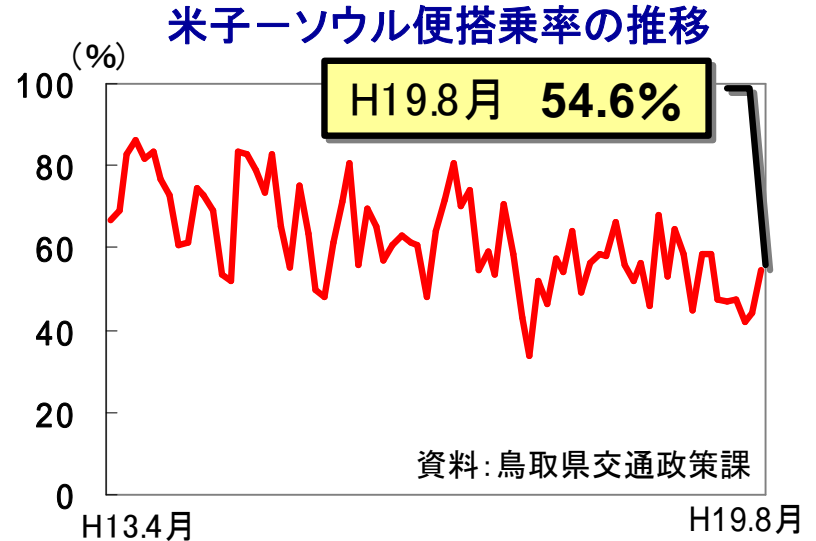
資料:鳥取県観光課「観光客入込動態調査結果」(平成17年) 数値は実人員

鳥取県の現況

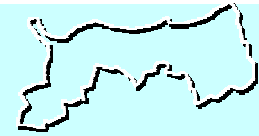


(14) 観光 - 2

- ・ 直近(平成19年8月)の米子ーソウル便の搭乗率は **54.6%**。
- ・ 鳥取県を訪れた外国人旅行者は、訪日旅行者全体の **0.3%** (平成16年度) で、**全国40位**。

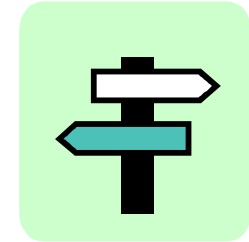


鳥取県の現況



(15) 近隣県との交流

・人は島根と、貨物は岡山と、企業は大阪・東京との交流が多い

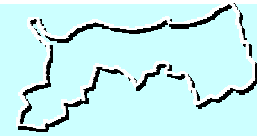


各指標の相手先都道府県別シェア(%)

人口移動 (平成16年)	旅客流動 (平成13~15年度)	貨物流動 (平成13~15年度)	企業支所従業員数 (平成13年)
島根 12.3	島根 47.3	岡山 22.4	大阪 23.6
大阪 10.8	兵庫 16.6	島根 21.6	東京 21.8
兵庫 8.6	岡山 13.4	大阪 11.2	島根 19.4
広島 8.2	大阪 8.1	兵庫 10.6	広島 9.9
岡山 7.6	広島 4.8	山口 5.5	岡山 6.9
東京 6.5	福岡 2.7	広島 4.8	兵庫 6.1
京都 3.3	東京 2.4	福岡 3.9	千葉 2.6

資料：季刊中国総研NO.33「鳥取県の交流実態からみた地域構造」
鳥取県「鳥取県の人口」、国土交通省「旅客地域流動調査、貨物地域流動調査」
総務省「事業所・企業統計調査報告書」

鳥取県の現況



(16) 暮らし

- ・住んでいる人が認める「おいしい水」と「住みやすさ」
「住みやすさ指数ランキング」 全国総合第6位



「住みやすさ指数ランキング」(時事通信社 2005年)で鳥取県が上位又は下位の項目

項目	鳥取県の全国順位
空気や海や川の水のきれいさ	1
自宅周辺の道路の整備具合	2
地域交流の場となる公民館などの利用しやすさ	2
ごみ、下水道などの環境衛生のよさ	3
気候・風土の面から見た暮らしやすさ	34
買物など、日常生活の便利さ	36

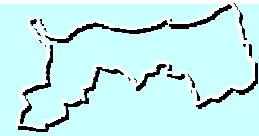
資料:2005年 時事通信社「くらしと環境に関する世論調査」

サンプル数:東京都、大阪府各1,400、その他の道府県各700人が回答

住みやすさ指数算出方法:各項目ごとに5段階で評価し、回答者の平均値を算出。

18項目の平均値の合計が「住みやすさ指数」、満点は90ポイント、最低は18ポイント。

鳥取県の現況

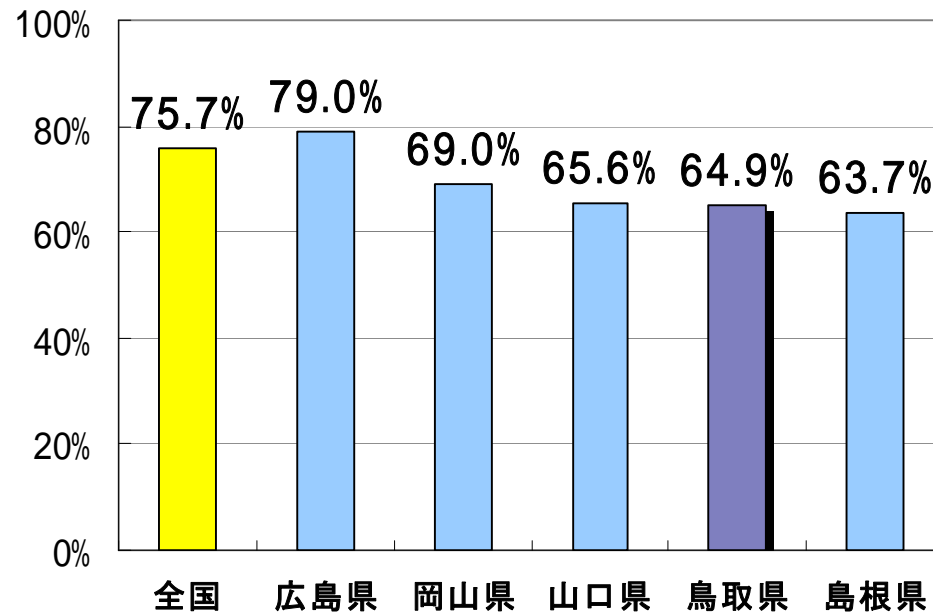


(17) 情報通信

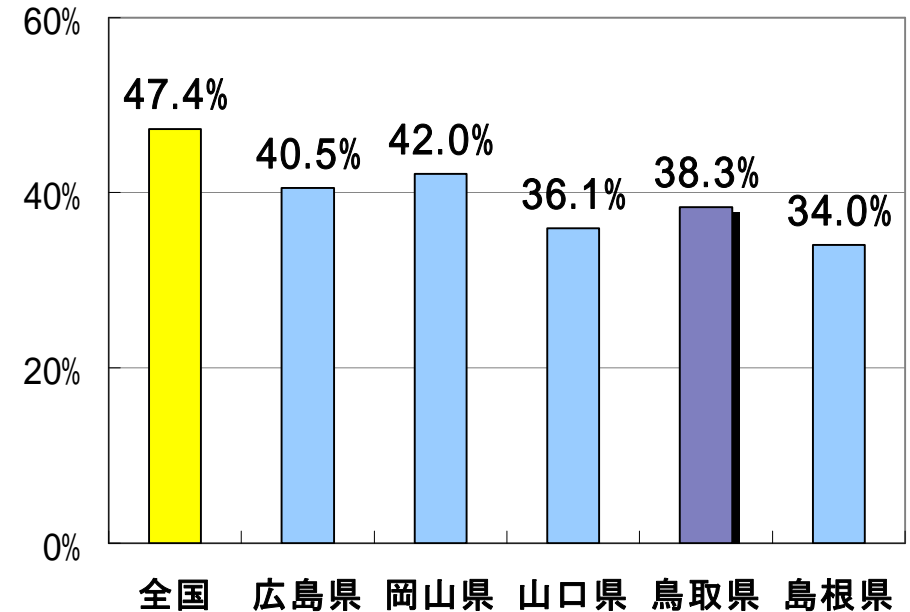


- ・ 携帯電話等の普及率は 約65%
- ・ インターネットを快適に利用できるブロードバンドサービスの世帯普及率は 約40%
- ・ ほぼ中国地方の他県並みだが、全国平均に比べると、まだ10%程度低い

携帯電話及びPHSサービス契約数の人口普及率(平成19年3月)

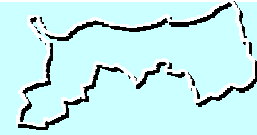


ブロードバンドサービスの世帯普及率(平成18年6月)



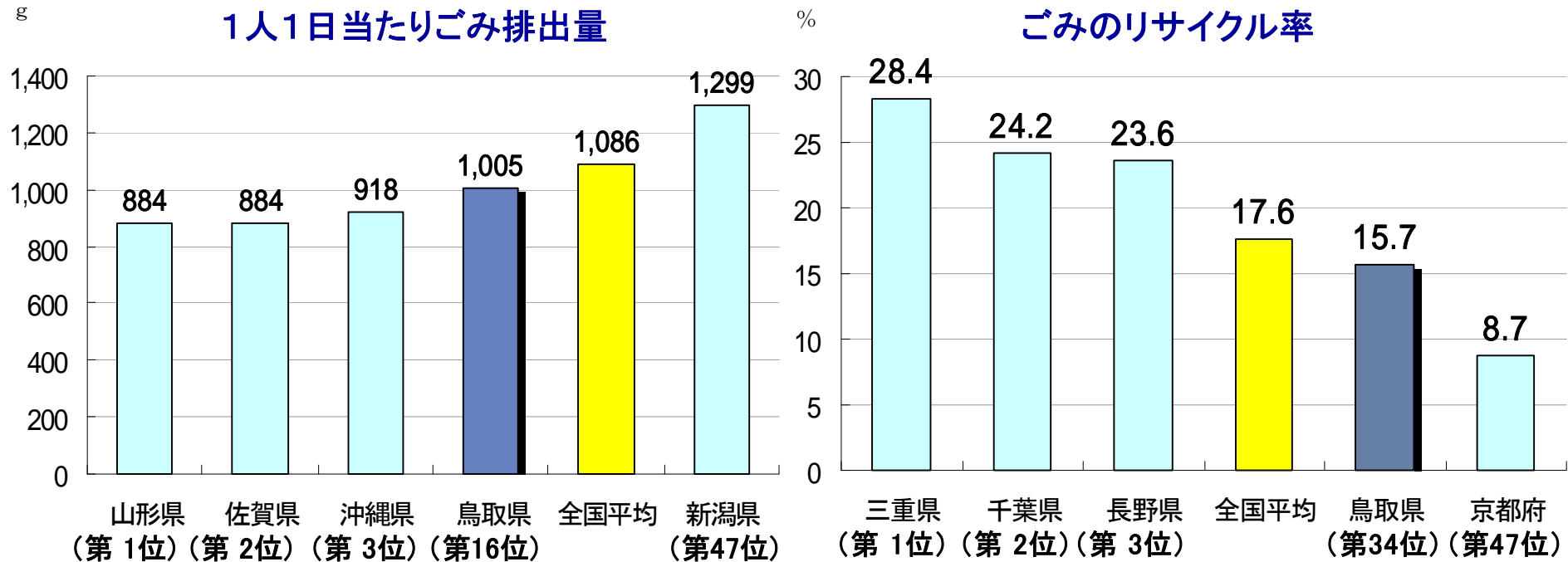
資料:総務省

鳥取県の現況



(18) ごみ

- ・ ごみ排出量は少ない（少ない方から全国16位）ものの、リサイクル率は高くない状況（リサイクル率が高い方から全国34位）



資料: 鳥取県循環型社会推進課「一般廃棄物処理実態調査結果」(平成16年度調査結果)

鳥取県の現況

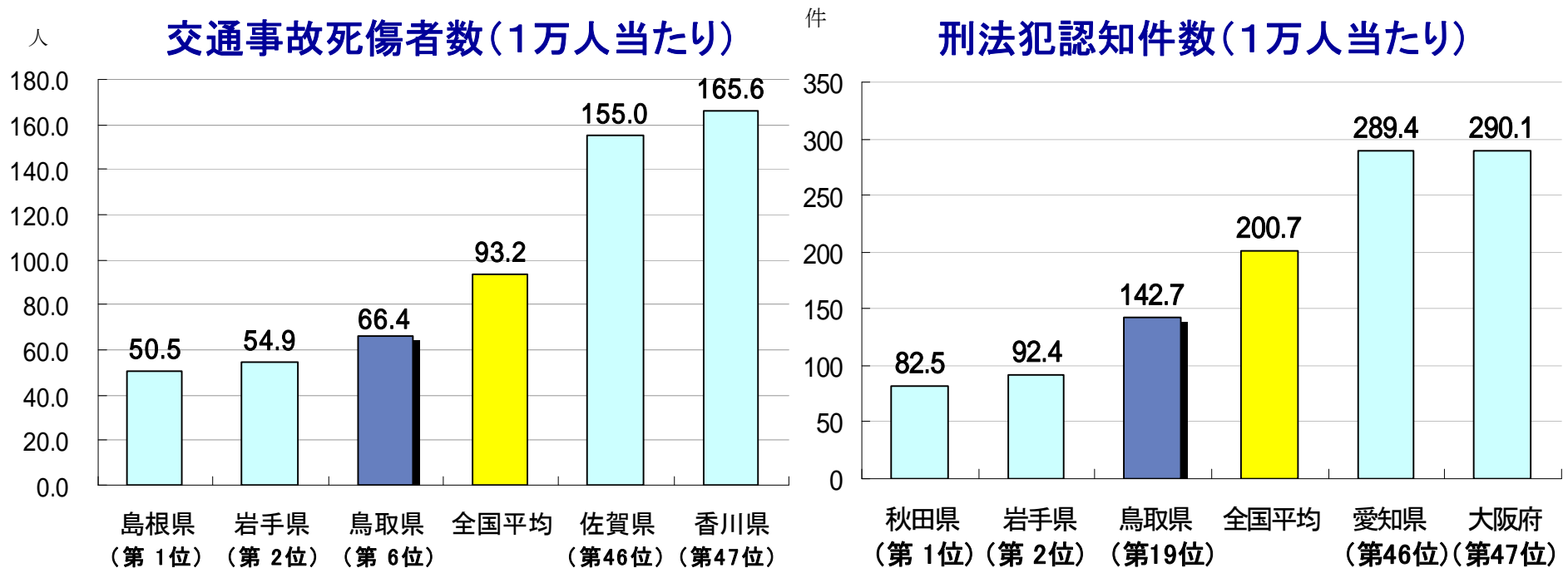


(19) 安全

・つい忘れがちな安全な暮らしのありがたさ

交通事故死傷者数 低い方から全国 6位 (1万人当たり)

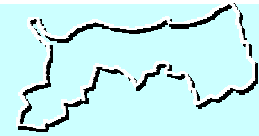
刑法犯認知件数 低い方から全国19位 (1万人当たり)



資料:警察庁ホームページ、平成16年10月1日現在推計人口、犯罪統計書

認知件数とは、警察においてその発生を認知した事件の数をいう。

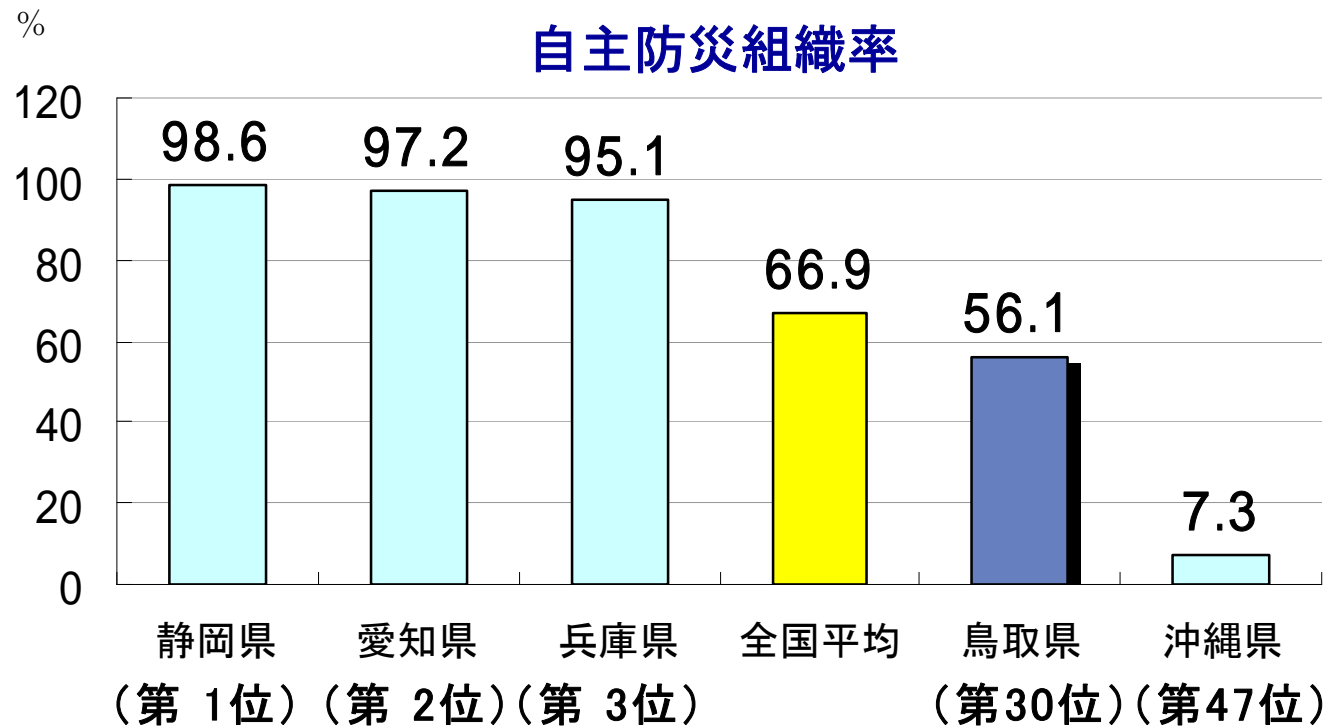
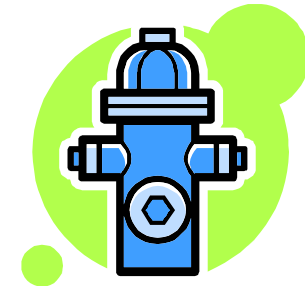
鳥取県の現況



(20) 防災

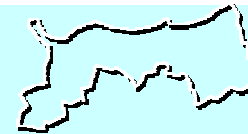
・地域防災力の要である自主防災組織の組織率は、全国平均に比べて低い

(自主防災組織とは、地域住民による任意の防災組織のことで、消防団及び水防団は含まない。)



資料:総務省消防庁「消防白書」(平成18年版)を基に鳥取県防災危機管理課作成

鳥取県の現況

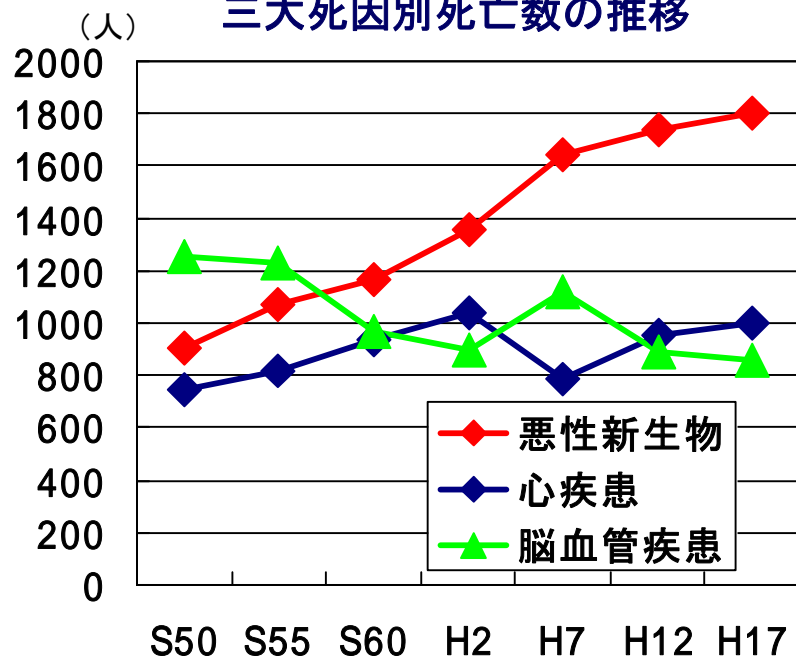


(21) 健康・医療



- ・ 三大死因(悪性新生物(がん)・心疾患・脳血管疾患)による死亡数が全体の6割
特に悪性新生物による死亡数が増加傾向
- ・ 本県の人口10万人当たり医師数は全国4位だが、県内での医師は偏在傾向
- ・ 全国的に地方公立病院の医師不足 本県でも病棟休止、診療科廃止の事例

三大死因別死亡数の推移



平成16年の医師・歯科医師・薬剤師数調査結果

都道府県別(従業地)別人口10万人当たり医師数

全国平均 201人

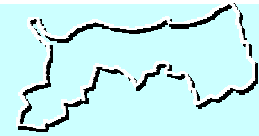
1位 東京 264.2人 2位 徳島 262.4人 3位 高知 261.4人

4位 鳥取 258.3人 (他、京都も4位)

各県内医療圏の状況

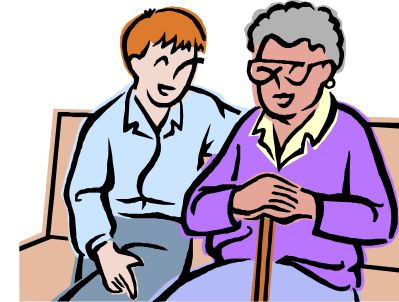
東部 195.6人、中部 180.1人、西部 355.6人

鳥取県の現況

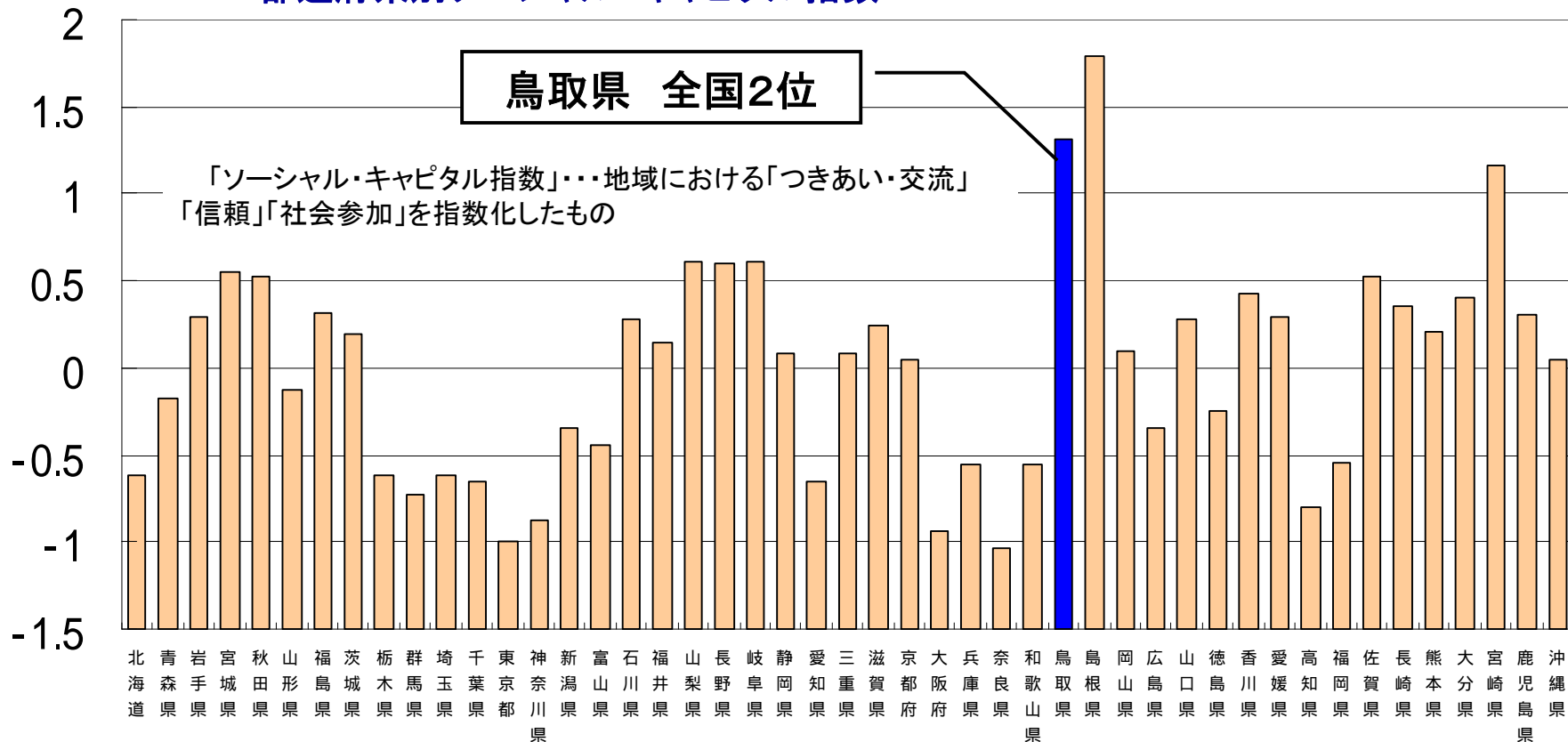


(22) 地域の絆

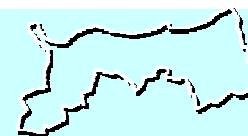
- ・人と人、人と地域の結びつきが強い
- ・「顔が見える関係」



都道府県別ソーシャル・キャピタル指数



鳥取県の現況



(23) 子育て

- ・ 3世代同居率が高く、比較的働きやすい環境
- ・ 高い女性就業率 保育所数の設置割合が高い

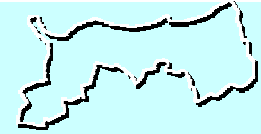


資料: 鳥取県統計課「平成17年度版統計でみた鳥取県」、厚生労働白書

区分	全国 順位	鳥取県の数値 ()内は実数値	全 国 平均数値	年 度
合計特殊出生率 (1人の女性が一生の間に生む子どもの数)	4	1.51人 (5,186人)	1.32人	18
65歳以上の親族のいる世帯割合	6	45.4%	35.1%	17
共働き世帯割合	5	38.5% (77,102世帯)	28.1%	12
保育所数(0~5歳人口10万人当たり)	6	612.8所 (203所)	315.4所	14
子育て支援の拠点実施割合(注) (中学校区数に対する実施割合:62校)	1	70.0% (46施設)	28.8%	16
ファミリー・サポート・センター実施割合 (市町村数に対する実施割合)	3	47.4% (8センター)	13.5%	16

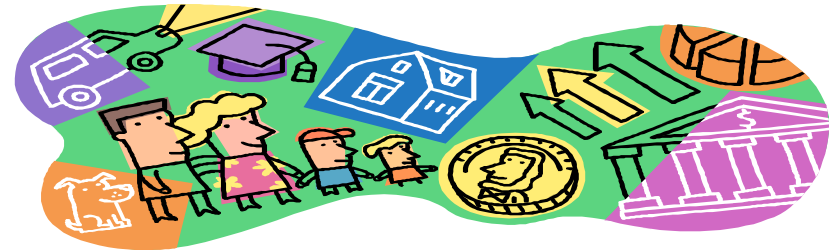
(注) 子育て支援の拠点とは、地域子育て支援センター(45施設)、子育て広場(1施設)。

鳥取県の現況

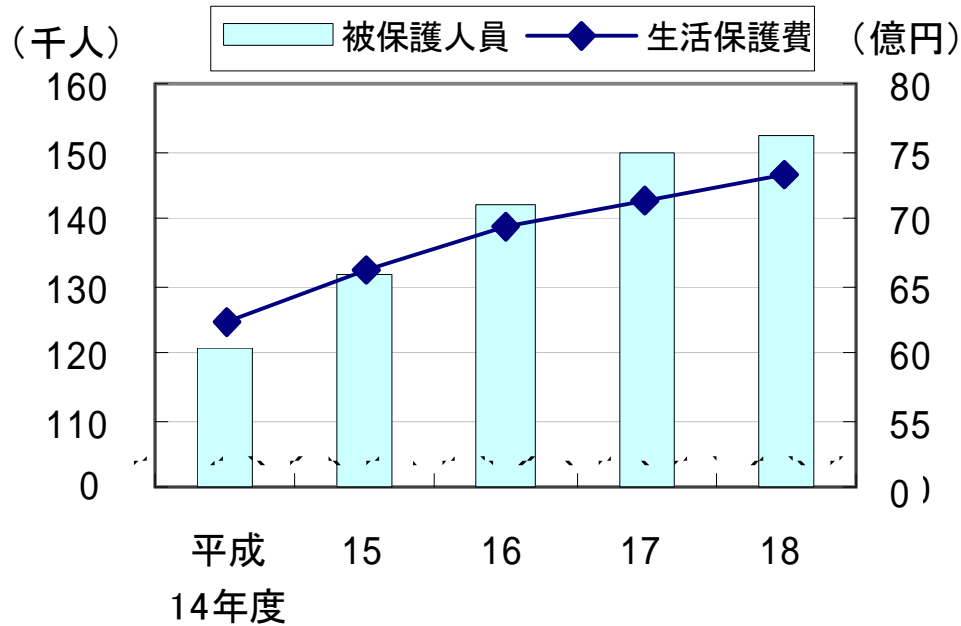


(24) 社会保障

- ・ 本県の生活保護人員、生活保護費は 増加傾向
全国的にも増加傾向



鳥取県の被保護人員及び生活保護費の推移



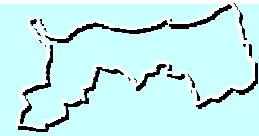
※被保護人員は扶助別の累計。

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
保護率 (人口千人あたり)	7.71人	21	11.55人	17
老人ホーム定員数(老年人口千人あたり)	29.9人	2	20.9人	18
居宅サービス従事者数(老年人口千人あたり)	5.62人	38	7.63人	17

資料 厚生労働省「福祉行政報告例」

資料:鳥取県統計課「平成17年度版統計でみた鳥取県」

鳥取県の現況

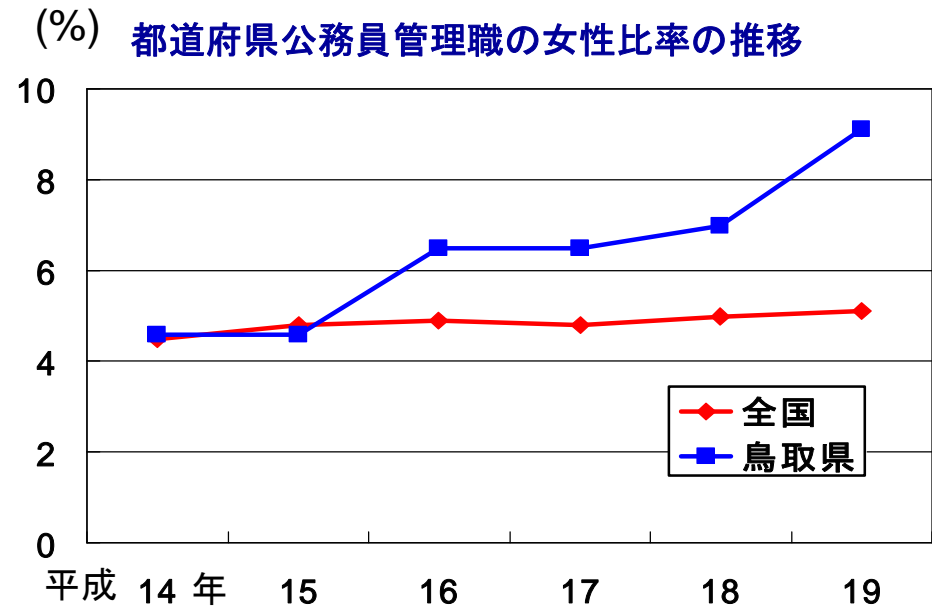
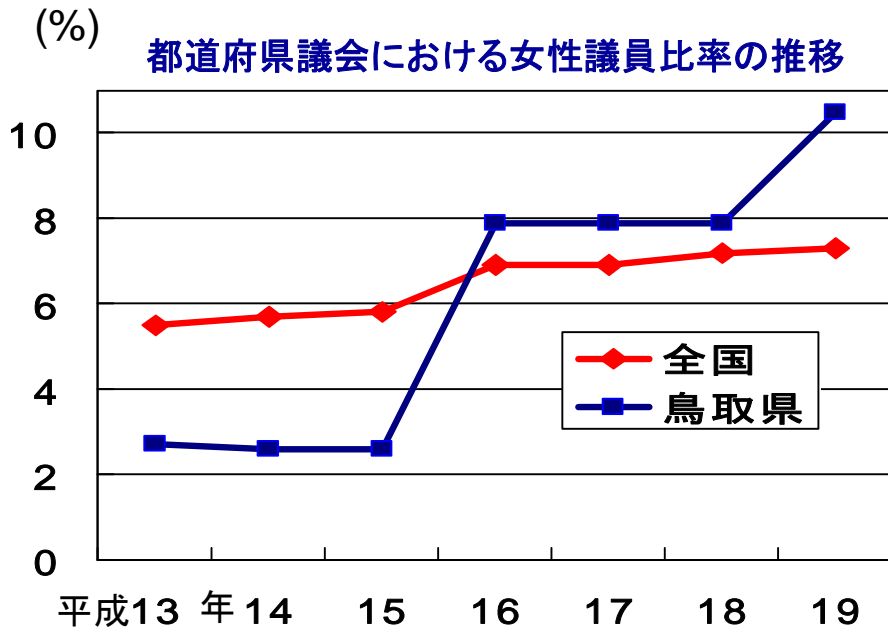


(25) 男女共同参画

- ・ 鳥取県の公的分野における女性比率はかなり高い状況

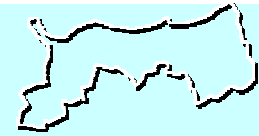


指標名	鳥取県	順位	全国	年次
都道府県議会の女性議員比率	10.5%	6	7.3%	19
審議会等委員の女性比率	42.3%	2	32.6%	19
都道府県公務員管理職の女性比率	9.1%	2	5.1%	19



資料: 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成または女性に関する施策の推進状況」

鳥取県の現況

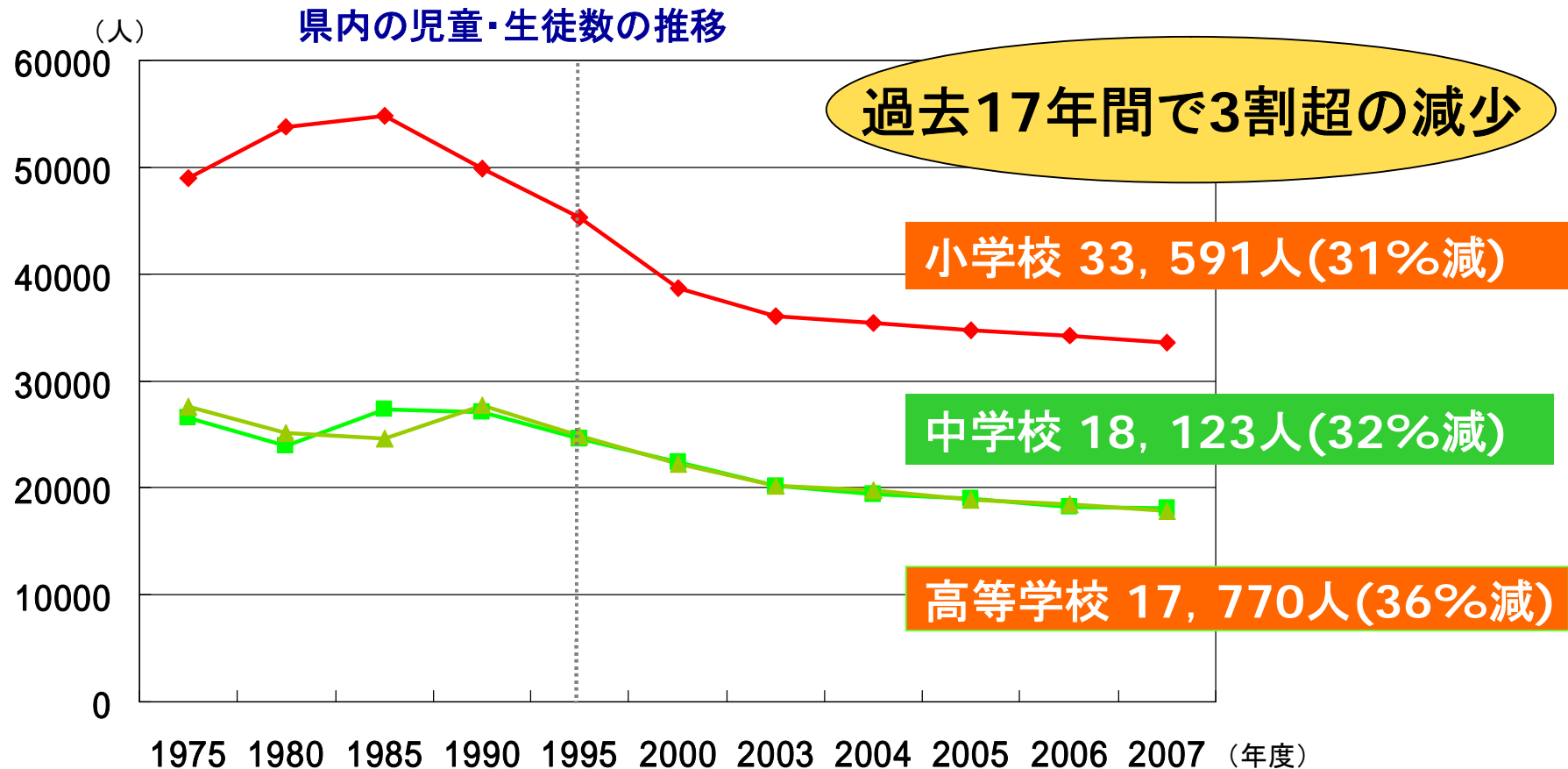


(26) 教育 - 1



児童生徒数の減少

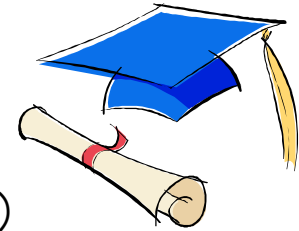
本県の児童生徒数は、1995(平成2)年(17年前)から3割を超える減少



鳥取県の現況

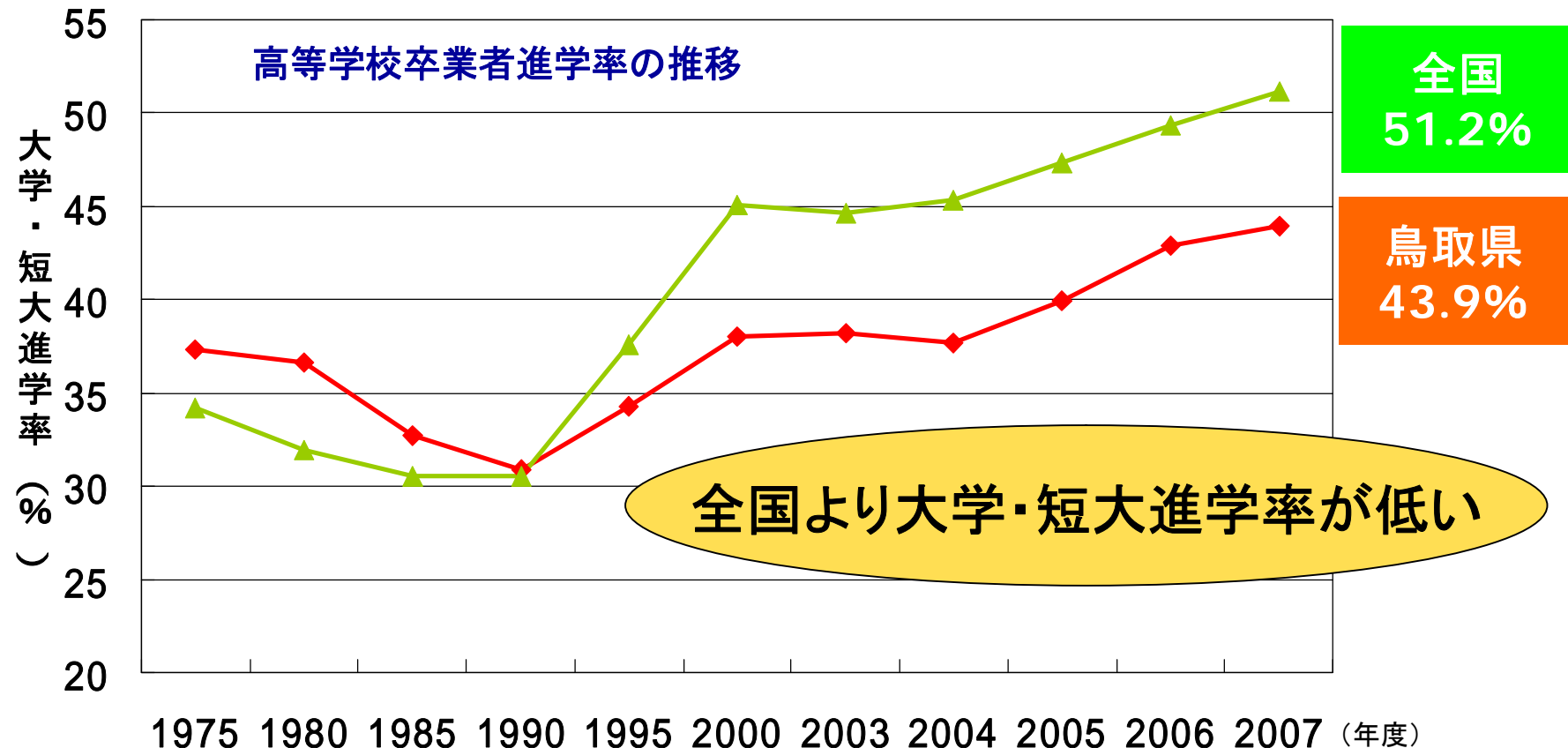


(27) 教育 - 2



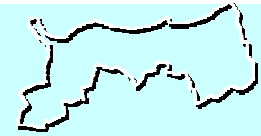
- 高等学校卒業者の進学率

全国に比べて1割近く低い大学・短大進学率（**全国33位**）



資料: 鳥取県教育委員会

鳥取県の現況



(28) 教育 - 3

- ・ 少人数学級の積極的な実施
平成14年度から鳥取県独自で教員の増員を実施



鳥取県の少人数学級の実施状況(平成19年度)

◇小学校1、2年生(30人学級)

・77学級増 77人教員増

◇中学校1年生(33人学級)

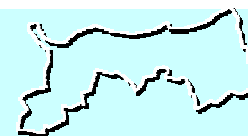
・28学級増 40人教員増

◇上記以外の学年における少人数学級

・小学校:9学級増 9人教員増

・中学校:8学級増 10人教員増

鳥取県の現況

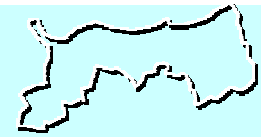


(29) 教育 - 4

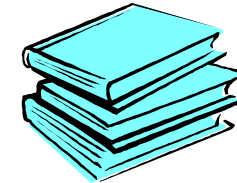
問題行動等の状況 ()は出現率

- 不登校児童生徒数(H18)
 - 小学校 : 128人(0.37%、全国15位)
 - 中学校 : 459人(2.51%、全国35位)
 - 公立高校 : 266人(1.73%)
公立高校については未公表のため、H17の数値を掲載
- 公立高校退学者数(H17) : 228人(1.49%)
- 犯罪少年数(H18) : 470人(1.20%)
- 20歳未満人工妊娠中絶件数(H17) : 228件(1.52%)

鳥取県の現況



(30) 文化



- 県立博物館、県立図書館とも、来館者数はやや減少傾向

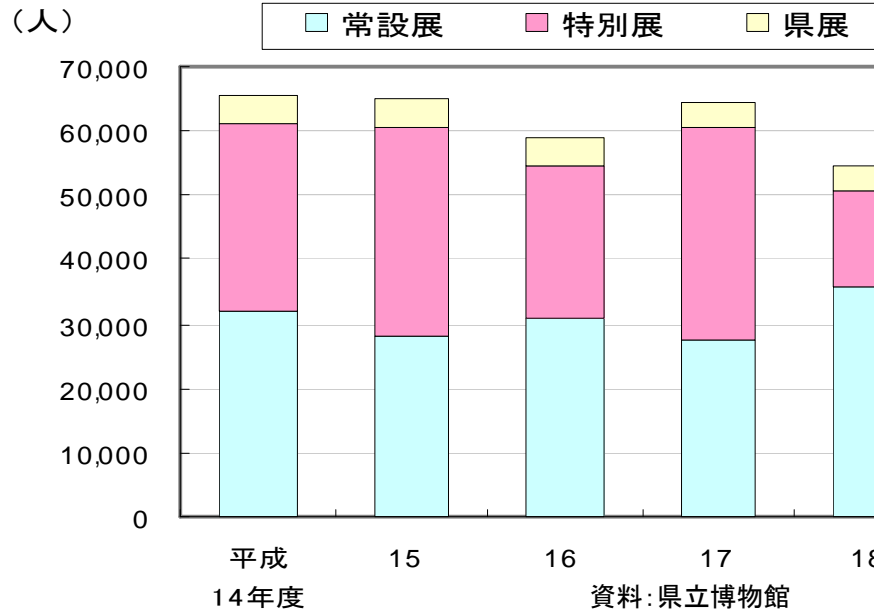
県立博物館は、昭和47年の開館以来の入場者数が400万人達成

県立図書館は、平成18年に“Libraries of the year”～」を受賞

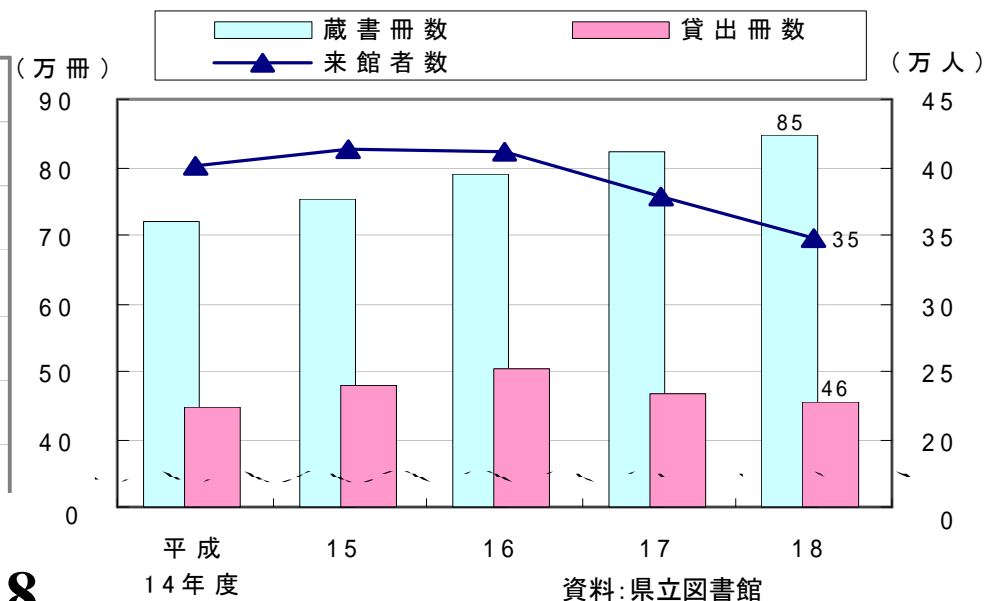
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
図書館数 (人口10万人当たり)	4.28館	6	2.33館	17
博物館数 (人口10万人当たり)	1.15館	20	0.94館	17

資料：鳥取県統計課「平成17年度版統計でみた鳥取県」

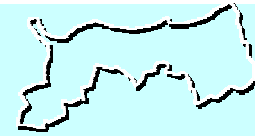
鳥取県立博物館の入館者数の推移



鳥取県立図書館の蔵書、貸出冊数及び来館者数の推移



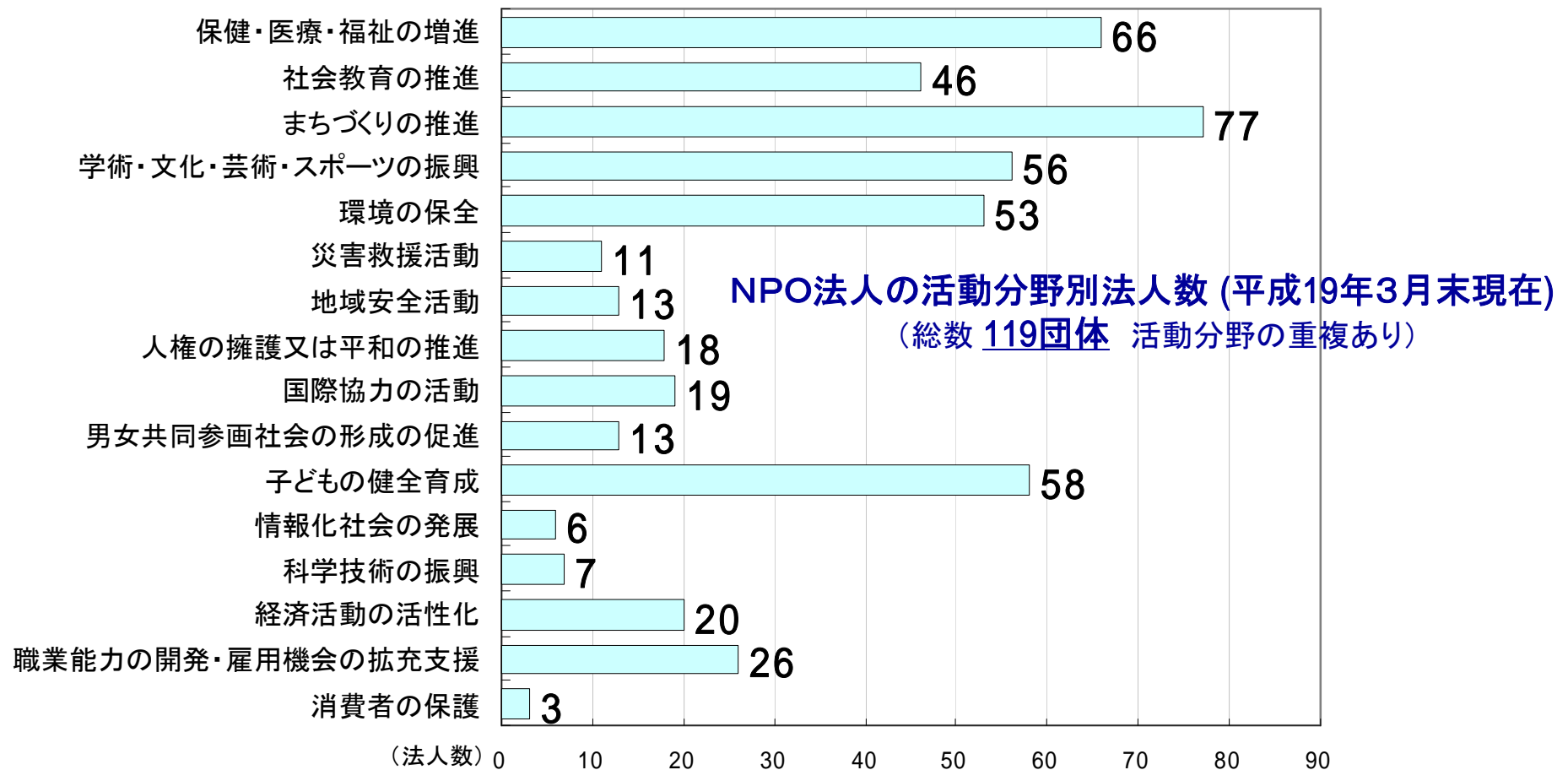
鳥取県の現況



(31) NPO

- ・ NPO法人の活動分野は「まちづくりの推進」が最も多く、交流を図るイベント、空き店舗の活用、地域の活性化に取り組む

資料：鳥取県協働連携推進課



当面の重要課題(1)

元気な産業 しっかり雇用

- ・国際競争に対応できる先端技術産業の育成
- ・起業チャレンジの支援
- ・中小企業対策
- ・商店街空き店舗活用
- ・企業誘致
- ・市場に訴える収益性の高い農林水産業
- ・シルバー世代も含めた担い手育成と農山漁村の発展
- ・新たな旅の需要開拓と観光客の増加

人間第一 環境日本一

- ・医療・福祉など地域のセーフティネット構築
- ・人権尊重の明るい社会づくり
- ・男女共同参画の推進
- ・美しい自然環境の保全
- ・地球温暖化防止と循環型社会づくりの推進

当面の重要課題(2)

学び育み 輝く文化

- ・個性と学力を伸ばす教育環境、安心して子育てできる家庭環境の創造
- ・歴史と伝統を見直し、県民の郷土愛で支えるふるさと鳥取
- ・鳥取県を芸術家たちのリゾートに
- ・文化・芸術活動の一層の推進
- ・県内の高等教育機関や研究施設と連携して、鳥取県発の産業シーズを開発

安全・安心 いきいき地域

- ・鳥取県西部地震の経験等を活かした、実践型の危機管理体制構築
- ・官民一体となった災害のない地域づくりの推進
- ・山陰自動車道や米子空港など鳥取県の足腰となる交通基盤整備
- ・凶悪犯罪や振り込め詐欺などの犯罪のない安心できるまちづくり
- ・ぬくもりのある地域コミュニティの形成

県民サポート クリーン県政

- ・県民、企業、NPO等との協働を積極的に推進し、行政スタイルを変革

高速道路などの基盤整備の予定

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	20年代 前半	備考
空港・ JR・ダム			米子空港 滑走路 2,500m化	余部鉄橋	殿ダム		
姫路鳥取 線	志戸坂峠 道路 (智頭南 IC～智頭 IC)	智頭IC～ 河原IC	河原IC～ 鳥取IC 佐用JCT ～大原IC			西粟倉IC～大 原IC (鳥取IC～ 佐用JCTまで 全通)	
山陰道	淀江IC～ 名和IC					東伯・中山道 路	○鳥取西道路、赤 碕中山～名和間 は供用開始未定 ○瑞穂～青谷は 未事業化
鳥取豊岡 宮津自動 車道		東浜居組 道路					○駟馳山バイパス は、平成20年代 供用
その他の 高規格道 路		鳥取環状 道路(秋 里～天神 町)				北条湯原道路 (倉吉道路) 江府三次道路 (江府道路)	江府三次道路(鍵 掛峠道路)は20年 代後半供用